

海外安全対策情報 2019年第3四半期（7～9月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪情勢の概況

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあります。依然として日本よりも犯罪発生率が非常に高い状況に変わりはありません。例えば、人口10万人当たりの強盗の発生件数を比較すると、2018年の統計では、ブルガリアは日本の約12.7倍となっています。

外国人観光客を特に狙った凶悪犯罪の発生は認められませんが、首都ソフィア中心部におけるスリや置き引きは依然多発しており、注意が必要です。外出時には常に防犯意識を高く持ち、携行品から目を離さないように十分注意して下さい。

(2) 邦人被害犯罪の発生状況

8月上旬の午前7時30分頃、ソフィア市内で流しのタクシーを拾った邦人男性旅行客が、言語の問題から運転手と意思疎通がうまくいかず、料金の支払いに関して口論になり、激高した運転手により首を絞められ、リュックサックを強奪されたという強盗事件が発生しました。

2 テロ・爆弾事件発生状況

発生していません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

以上